

平成 30 年度 保障措置セミナーの年間計画(案)

公益財団法人 核物質管理センターは発足以来、核物質管理に関連するセミナーの開催等の業務を行ってきておりますが、今年度も保障措置に関して体系的にご理解いただくことを目的として、平成 29 年度のアンケート結果を受け、平成 30 年度の標記セミナーを別紙セミナー開催スケジュールの通り開催する予定としております。

保障措置に関する理解を深める場として本セミナーをご利用、ご活用いただければ幸いです。

なお、2018 年 11 月に開催予定の専門編の日程変更をいたしました。

平成 30 年度 セミナー開催スケジュール

	保障措置セミナー	(参考) 情報管理部主催 記載要領等講習会
4 月		
5 月		
6 月		少量国規物使用者対象 (東京、大阪及び福岡で開催)
7 月	① (7/12)基礎コース 1	
8 月	② (8/30) 基礎コース 2 (7 月開催と同内容)	
9 月	③ (9/13) 専門コース： 国際約束と事業者の義務	
10 月	④ (10/4) 専門コース： MOX 利用、乾式貯蔵及び廃炉の保障措置 について(実用発電炉向け)	
11 月	⑤ (11/15) 専門コース： 新しい査察の導入とその考え方(電気事業者以外の原子力事業者向け)	計量管理講習会(少量国規使用者以外を対象として東海で開催予定)
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		

注) 上記スケジュールについては、保障措置に関する会合等の開催などを踏まえ、必要に応じて見直すこともあります。

1. 申込受付期間

各セミナーの申込受付期間は以下の通りといたします。申込期間が始まりましたら、申込書、申込方法等をホームページに掲載いたします。

① (7/12 開催) 基礎コース 1

受付期間：5月7日(月)～7月2日(月)

定員：20名

② (8/30 開催) 基礎コース 2 (7月開催と同内容)

受付期間：7月2日(月)～8月20日(月)

定員：20名

③ (9/13 開催) 専門コース：国際約束と事業者の義務

受付期間：7月6日(金)～8月31日(金)

定員：20名

④ (10/4 開催) 専門コース：MOX 利用、乾式貯蔵及び廃炉の保障措置について (実用発電炉向け)

受付期間：8月6日(月)～9月19日(水)

定員：20名

⑤ (11/15 開催) 専門コース：新しい査察の導入とその考え方

(電気事業者以外の原子力事業者向け)

受付期間：9月4日(火)～10月22日(月)

定員：20名

2. 各セミナーのプログラム(案)と内容

平成30年度 保障措置セミナー【基礎コース】

プログラム (案)

開催日：平成30年7月12日（木）及び平成30年8月30日（木）

開催場所：公益財団法人核物質管理センター 本部 6階会議室

時刻	講演名及び講師	講演内容
12:30～12:55	受付	
13:00～13:05	開会挨拶 事業推進部長	
13:05～14:10	保障措置の成り立ち 事業推進部長 磯 章子	<ul style="list-style-type: none">・二国間協定及び IAEA の保障措置受け入れの経緯・保障措置の強化策と追加議定書、拡大結論の経緯・国レベルの保障措置アプローチ
14:10～14:20	休憩	
14:20～15:20	国際約束と事業者の義務 事業推進部 調査研究課主査 岡本 篤知	<ul style="list-style-type: none">・国際約束により求められる義務(報告と査察)・原子炉等規制法における報告と査察活動の規定
15:20～15:30	休憩	
15:30～16:40	国内の施設における保障措置の実務の現状 事業推進部	<ul style="list-style-type: none">・施設における報告義務の概要説明 (→記載要領は情報のセミナーへ)・施設における査察等の活動の概要 (→国内法の用語と IAEA 保障措置協定の用語の違いと国内の実施主体の違いの説明。基本的に IAEA 協定の用語で、その目的、実施内容などの説明。)
16:40～16:50	全体を通しての質疑応答	
16:50～17:00	閉会の挨拶 事業推進部長 磯 章子	

プログラム及び講師は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

平成30年度 保障措置セミナー【専門コース】
 国際約束と事業者の義務
 プログラム（案）

開催日：平成30年9月13日（木）

開催場所：公益財団法人核物質管理センター 本部 6階会議室

時刻	講演項目	備考
12:30～12:55	受付	
13:00～13:05	開会挨拶 事業推進部長	
13:05～13:50	1. 保障措置に係る国際約束 事業推進部長 磯 章子	二国間協定(日米)、IAEA 保障措置協定など、保障 措置関連の国際約束の概 要説明
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:50	2. 日本におけるIAEA保障措置の義務 事業推進部 調査研究課 主査 岡本 篤知	報告及び査察対応などの 事業者対応の根拠となる IAEA保障措置協定上の 義務の説明
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:30	3. 国際約束と国内法の関係 事業推進部 調査研究課 主査 岡本 篤知	国際約束履行のための国 内法の概要の説明
15:30～16:10	4. 具体的な事業者の義務と対応(情報提供) 事業推進部長 磯 章子	ICR や OCR 等の報告以 外に事業者に求められる 具体的な情報提供の国際 約束及び国内法の根拠の 説明
16:10～16:20	休憩	
16:20～16:50	5. 具体的な事業者の義務と対応(査察等への 対応) 事業推進部長 磯 章子	IAEAの査察及び補完的 なアクセスの国際約束及 び国内法の根拠の説明
16:50～16:55	閉会挨拶 核物質管理センター 事業推進部長	

プログラム及び講師は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

平成30年度 保障措置セミナー【専門コース】
MOX 利用、乾式貯蔵及び廃炉の保障措置について（実用発電炉向け）
プログラム（案）

開催日：平成30年10月4日（木）

開催場所：公益財団法人核物質管理センター 本部 6階会議室

時刻	講演項目	備考
12:30～12:55	受付	
13:00～13:05	開会挨拶 事業推進部長	
13:05～13:50	1. 軽水炉の統合保障措置アプローチ 事業推進部	軽水炉への統合保障措置アプローチ開発及び導入の経緯、ランダム査察を中心にした軽水炉の保障措置アプローチの概念及び査察の受入対応等について説明
13:50～14:50	2. MOX 燃料を使用している軽水炉への保障措置 事業推進部 礒 章子	海外からのMOX燃料受入時の査察対応を含めたMOX燃料を使用している軽水炉の保障措置アプローチの概念及び査察の受入対応等について説明
14:50～15:00	休憩	
15:00～16:00	3. 使用済燃料の中間貯蔵施設の保障措置 -乾式貯蔵施設での保障措置- 事業推進部 礒 章子	使用済燃料の中間貯蔵施設（特に乾式貯蔵施設）での保障措置の概要についての説明
16:00～16:10	休憩	
16:10～17:00	4. 廃炉の保障措置 事業推進部 礒 章子	廃止措置中の軽水炉に適用される保障措置の概要について説明
17:00～17:05	閉会挨拶 核物質管理センター 事業推進部長	

プログラム及び講師は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

平成30年度 保障措置セミナー【専門コース】
 新しい査察の導入とその考え方（電気事業者以外の原子力事業者向け）
 プログラム（案）

開催日：平成30年11月15日（木）

開催場所：公益財団法人核物質管理センター 本部 6階会議室

時刻	講演項目	備考
12:30～12:55	受付	
13:00～13:05	開会挨拶 事業推進部長	
13:05～13:50	1. IAEA 保障措置の新たな戦略 事業推進部 礒 章子	・国レベルの概念の概要と取得 経路分析の考え方 ・国内査察対応の変化（特にOSP- OS の導入等）
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:45	2. 施設タイプによる計量管理の特徴と計量 管理システムの改善（濃縮施設、ウラン加 工施設、プルトニウム取扱施設及びその 他の研究開発施設） 事業推進部 佐藤 雄二	・施設による測定（NDA 及び DA） を伴う計量管理システムの特徴 ・IAEA、JSGO/NMCC、施設による 3者比較等の運用による施設の 計量管理システムの維持・向上
14:45～14:55	休憩	
14:55～15:40	3. 施設タイプによる査察の特徴とその対応 事業推進部	・施設タイプごとの特徴的な査察、 検認手法 ・特に新たに適用される OSP-OS の対応等
15:40～15:50	休憩	
15:50～16:25	4. 廃止措置中の保障措置の考え方 事業推進部 礒 章子	廃止措置中の保障措置の考え方 （施設のライフタイム全般に適用さ れる保障措置の考え方）
16:25～16:40	全体を通しての質疑応答	
16:40～16:45	閉会挨拶 事業推進部長	

プログラム及び講師は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。